

令和6年度 学校評価（最終）について

1 本校職員における評価

- (1) 対 象 : 本校教職員 77人（管理職，特別支援学校看護師を除く）
 (2) 実施期間 : 令和6年12月9日（月）～令和6年12月24日（火）
 (3) 内 容 : 16の評価項目（7のカテゴリー）
 ※ カテゴリーは，学校経営方針との関連で設定
 ※ カテゴリー内に複数の「評価項目」を設定する。評価項目は，「重点取組事項との関連で設定するもの」（重点）と「それ以外のもの」（通常）で構成する。

2 評価方法

- ア 4段階評価「A・B・C・D」（表1，表2参照）
 イ 評価（判断）が困難な項目に関しては，「無回答：N」とする。

表1 評価基準表①

評価	評 価 基 準
A	（実施「済」，かつ，ねらい「十分達成」） ○ 予定された取組が，計画的に（年間の分掌計画に掲げたとおり）実施され，ねらいの80%以上が達成されている。
B	（実施「済」，かつ，ねらい「まあまあ達成」） ○ 予定された取組が，計画的に（年間の分掌計画に掲げたとおり）実施され，ねらいの50%以上80%未満が達成されている。 （実施：「未」，かつ，計画性「十分」） ○ 今後，実施予定の取組（現段階では計画進行中のため未実施である）に関する計画が，現時点で年度初めの分掌計画に基づき，係での検討や職員への提案・周知がなされ，進められている。
C	（実施：「済」，かつ，ねらい「やや未達成」） ○ 予定された取組が，計画的に（年間の分掌計画に掲げたとおり）実施され，ねらいの20%以上50%未満が達成されている。 （実施：「未」，かつ，計画性「やや十分」） ○ 今後，実施予定の取組（現段階では計画進行中のため未実施である）に関する計画が，現時点で進められつつある。
D	（実施：「済」，かつ，ねらい「未達成」） ○ 予定された取組が，計画的に（年間の分掌計画に掲げたとおり）実施され，現時点でねらいが19%未満達成されている。 ○ 予定された取組が，実施時期を逃して未実施の状況にある。 （実施：「未」，かつ，計画性「不十分」） ○ 重点取組事項の具体的な取組が，校務分掌の係業務として年間計画（校務分掌報告会資料）に反映されていない。（年度当初から計画されていない。） ○ 大幅な改善が必要である。
N	○ 実施状況や計画の進捗よくが「分からない」若しくは，上記の判断ができない場合は「N」と回答する。 無回答。

表2 評価基準表②

有← 実施の有無 →無

達成↑ねらい達成状況↓未達成	実施 （実施済み～取組進行中）	未実施 （計画進行中～今後実施）
80%～100% 達成	A	B
50%～80%未満 達成	B	C
20%～50%未満 達成	C	D
20%未満 達成	D	

すでに実施済みの取組や進行中の取組に関しては，こちらの基準（4段階）で評価する。

今後，実施予定の取組や現在計画進行中の取組に関しては，こちらの基準（3段階）で評価する。※未実施ということで，「A」は付かない。

3 集計結果について

(1) 回収率：89%（69人）（管理職，特別支援教育看護師は除く）

(2) 課題項目，成果項目について

課題項目，成果項目を次のように設定する。

ア C，Dの評価が全体の20%以上・・・課題項目

イ Aの評価が全体の33%以上，またはAB合わせた評価が全体の90%以上
・・・成果項目

ウ Aの評価が全体の33%未満・・・成果項目を目指す項目

			上段：中間 下段：最終	A の割合	AB の割合	C, D の割合
教育公務員としての 責任・自覚 (経営方針(1))	① (通常)	・ 学校全体として，人権尊重の教育のもと，教職員として，適切な言動に努めているか？		38.5% 41.0%	95.6% 98.4%	4.6% 1.6%
	② (通常)	・ 学校全体として，教育公務員としての責任と自覚をもち，服務規律の厳正確保に努めているか？		69.2% 73.8%	95.4% 100%	1.5% 0.0%
業務改善への取組 (経営方針(1)) (県の重点取組事項)	③ (重点)	・ 学校全体として，適正な勤務時間（定時退庁日，時間外勤務月45時間以内）を意識し，やるべきことに優先順位を付け，計画的に業務を行うことができているか？（重点取組(4)）		32.3% <u>24.6%</u>	90.8% <u>83.6%</u>	6.1% 14.8%
	④ (重点)	・ 学校全体として，教材研究の時間を確保し，データ整理や教材の共有化などの工夫を行いながら，効率的な授業準備がなされているか？（重点取組(4)）		21.5% <u>29.5%</u>	84.6% <u>85.2%</u>	7.7% 9.8%
安心して学べる教育環境の整備・改善 (経営方針(2))	⑤ (通常)	・ 学校全体として，ヒヤリハット事例を情報共有し，再発防止のための対策や改善策に努めているか？		58.5% 60.7%	95.4% 98.4%	3.0% 1.6%
	⑥ (重点)	・ 学校全体として，教室や学習の場，校外の施設などの整備・点検を行い，省エネを意識し，教育環境の改善に努めているか？（重点取組(1)）		27.7% 34.4%	80.0% 88.5%	18.4% 11.4%
児童生徒個々の役割の実感・実践につながる教育活動 (経営方針(3))	⑦ (重点)	・ 本校の教育課程は，目指す資質・能力を明確に提示してあるか。（重点取組(3)）		30.8% 47.5%	90.8% 95.0%	0.0% 0.0%
	⑧ (重点)	・ 本校の教育課程は，児童生徒個々の役割の実感・実践につながるよう編成されているか？（重点取組(3)）		29.2% 39.3%	89.2% 96.7%	1.5% 1.6%
	⑨ (通常)	・ 学校全体として基本的な感染症対策に努め，様々な人的・物的資源の活用方法を工夫しながら，教育活動に取り入れることができたか。		52.1% 55.7%	95.4% 96.7%	0.0% 0.0%
一人一人の教育的ニーズに応える指導の充実 (経営方針(4))	⑩ (重点)	・ 学校全体として，一人一人の教育的ニーズを踏まえ，個別の指導計画を活用した授業づくりを行っているか？（重点取組(2)）		38.5% 32.8%	90.8% 90.2%	1.5% 3.3%
	⑪ (重点)	・ 学校全体として，教師間で目標や評価，今後の改善点等を共有しながら，授業実践及び学習評価の充実が図れているか？（重点取組(2)）		32.3% 37.7%	90.8% 93.4%	0.0% 0.0%
家庭・関係者（機関）等との協力・連携 (経営方針(5))	⑫ (重点)	・ 学校は，進路先の課題に基づく指導内容・指導方法の見直しをしながら，各学部における進路指導に努めているか？（重点取組(5)）		40.0% 29.5%	86.2% 90.2%	3.0% 3.3%
	⑬ (重点)	・ 学校全体として，将来の自立と社会参加に向け，児童生徒が自己選択・自己決定する機会の充実を図っているか？（重点取組(5)）		33.8% 33.7%	90.7% 91.8%	0.0% 3.3%
	⑭ (重点)	・ 学校全体として，児童生徒の健康の保持・増進（食に関する，歯磨き指導，運動の習慣化等）のための取組を家庭と連携して行っているか？（重点取組(1)）		38.5% 47.5%	87.7% 93.4%	0.0% 4.9%
本校における教育活動の理解・啓発 (経営方針(6))	⑮ (重点)	・ 学校は，センター的機能の充実を図るための取組（巡回相談，学校見学）を企画・運営し，本校の教育活動の理解・啓発や各学校間の学びの連続性の強化に努めているか？（重点取組(6)）		70.8% 67.2%	93.9% 98.3%	0.0% 0.0%
	⑯ (重点)	・ 学校は，ホームページの定期的な更新を行い本校の教育活動の理解と啓発に努めているか？（重点取組(6)）		33.8% 44.3%	81.5% 95.1%	3.1% 0.0%

4 集計結果を受けて

評価の数値や記述の内容を参考にし、結果の考察を行う。また、係を中心に、来年度に向けての取組を考えたりする。また来年度の学校経営方針や重点取組事項について検討を行う。

ア C, Dの評価が20%以上の項目

※ 課題項目のため具体的な対応が必要な項目と考える。 → ※該当項目なし

イ Aの評価が33%以上の項目またはAB合わせた評価が全体の90%以上

※ 成果項目にとらえ、さらにこの調子で取り組んで行く。 → ※14項目／16項目中

ウ Aの評価が33%未満の項目

※ 成果項目を目指す必要があると考える。 → ※2項目／16項目中

【成果項目を目指す項目】

- ③ 学校全体として、適正な勤務時間（定時退庁日、時間外勤務月45時間以内）を意識し、やるべきことに優先順位を付け、計画的に業務を行うことができるか？（重点取組(4)）
- ④ 学校全体として、教材研究の時間を確保し、データ整理や教材の共有化などの工夫を行いながら、効率的な授業準備がなされているか？（重点取組(4)）

5 学校経営方針項目ごとの評価

※○内の 番号は、関連する評価項目番号、●内番号は、成果項目を目指す項目番号

学校経営項目
(1) 公教育の基盤に立ち、人権尊重の教育のもと、教育公務員としての責任を自覚し、業務改善、教職員相互の信頼と協力により、心豊かにたくましく生きる人間を育成する。 ①②●③④
(2) 保健、衛生及び安全管理の徹底を図り、児童生徒が安心して学べる教育環境を整備する。 ⑤⑥
(3) 新学習指導要領における育成を目指す「資質・能力」の3つの柱を踏まえ、持続可能な社会の実現のために児童生徒個々の役割の実感・実践につながる教育課程を編成する。 ⑦⑧⑨
(4) 児童生徒の的確な実態把握と分析による適切な個別の指導計画を作成し、一人一人の教育的ニーズに応える指導を行う。 ⑩⑪
(5) 家庭や児童福祉施設、近隣の幼・保・小・中・高等学校、地域社会及び関係機関との協力・連携を密にし、教育効果の向上と指導・支援の共有化を図る。 ⑫⑬⑭
(6) インクルーシブ教育の推進に向けて、大島地区唯一の特別支援学校としてセンター的役割を充実させ、特別支援教育の理念の浸透と本校教育活動の理解・啓発を推進する。 ⑮⑯

6 重点取組事項項目ごとの評価

※○内の番号は、関連する評価項目番号、●内番号は、成果項目を目指す項目番号

重点取組事項
(1) 安心・安全で学びやすく健康的な教育活動の整備・充実 ⑥⑭
(2) 児童生徒の能力や特性等を踏まえた適切な教育の追究 ⑩⑪
(3) 目指す資質・能力とともに、社会のニーズを踏まえた適切な教育の追究 ⑦⑧
(4) 教職員相互の信頼・協力を基盤とした働きやすい環境の改善・整備 ●③④
(5) 関係機関との連携強化による教育効果の向上 ⑫⑬
(6) 特別支援教育のセンター的機能の充実 ⑮⑯

7 分析及び考察

(1) 教職員による自己評価の結果について

- 課題項目（0項目／16項目中）
- 成果項目（14項目／16項目中）
- 成果項目を目指す項目（2項目／16項目中）

成果項目を目指す項目として、「③学校全体として、適正な勤務時間（定時退庁日、時間外勤務月45時間以内）を意識し、やるべきことに優先順位を付け、計画的に業務を行うことができるか？」「学校全体として、教材研究の時間を確保し、データ整理や教材の共有化などの工夫を行いな

がら、効率的な授業準備がなされているか？」が挙がった。すべての項目について、結果の考察を行ったが、ここでは、この2項目について考察を記述する。

③に関しては、2学期末のアンケートということもあり、2学期は特に、運動会の開催、鹿児島県音楽研究会の授業提供に加え、教育実習生の受入や、奄美の〇〇名人、産業現場等における実習（後期）、宿泊学習など、各学部でも行事の多い学期となった。そのため、仕事量が増えてしまい、係の先生への負担が多くなったことが考えられる。業務内容によっては、他の教員へ割り振れないこともあり、分担が難しいこともあるが、業務分担について考えている職員も多いことから、お互いに声を掛け合い、助け合っていく必要がある。加えて、引き続き、自分の使っている教材など、共有して仕事をしていくことも大切であると思われる。

④に関しては、夏季休業中に行われる校内研修が台風の影響で延期になり、9月以降に、放課後の時間に研修を実施されたことが、教材研究の時間を圧迫したことも要因として考えられる。教材研究の時間や教材の共有化については、よい評価と悪い評価で挙げられており、個人内での考えもさまざまである。

校内委員会など、参加する一部の職員を除いて、多くの職員が自由に使える放課後の時間も、教材研究の時間としている。また、係会が開きやすいように「教材研究・係会」の時間を昨年度より設定し、週に2回ほどは教材研究の時間を取っている。各学部や学年部、係などの話し合いや学級事務などが教材研究の時間をなくしていると考えられ、学部としての業務削減や学校としての短縮校時の設定など思い切った改善などが必要である。

8 来年度に向けての取り組み（継続事項も含む）のまとめ

すべての項目について、来年度に向けての取り組み等を検討した。

項目	来年度に向けての取り組み（継続事項も含む）
①（通常）・学校全体として、人権尊重の教育のもと、教職員として、適切な言動に努めているか？	・ 人権同和教育研修を行う。 ・ 人権ヒヤリハットや啓発資料の紹介を行う。 ・ 職員内でヒヤリハットアンケート（人権に関するアンケート）を行う。 ・ 12月4日～10日まで人権週間での呼び掛けを行い、職員への意識の向上を図るようにする。 ・ 児童生徒への言葉掛けについて、職員間で伝え合うようにする。伝え合うことが難しい場合は係やハラスメント委員へ相談をするようにする（係やハラスメント委員の周知を定期的にGWにて行う）。
②（通常）・学校全体として、教育公務員としての責任と自覚をもち、服務規律の厳正確保に努めているか？	・ 今後も継続して、グループウェアや職員朝会での呼び掛けや長期休業前の服務規律に関する研修を行う。その際に、学校外の言動やリスクマネジメントについても、呼び掛けるようにする。 ・ チェックリストを用い、自己を見つめ直す機会を作る。
③（重点）・学校全体として、適正な勤務時間（定時退庁日、時間外勤務月45時間以内）を意識し、やるべきことに優先順位を付け、計画的に業務を行うことができているか？（重点取組(4)）	・ 行事の際に、仕事の分担を行い、一人へ加重負担にならないようにする。 ・ 今までのデータや教材など、使える物は使うようする。 ・ 近くの教員同士で、教材や掲示物など共有していくようにする。
④（重点）・学校全体として、教材研究の時間を確保し、データ整理や教材の共有化などの工夫を行いながら、効率的な授業準備がなされているか？（重点取組(4)）	・ 学部、学年部、係間の話し合いについて、GWや書面での回覧などを積極的に活用する。 ・ 校務分掌係書の中に「業務改善等」の欄を設け、業務改善を意識した仕事を行えるようにする。 ・ 短縮校時を設定する。 ・ データ共有について、X・Yフォルダの活用方法のマニュアル等を作成し、学校全体で共通理解を図る。 ・ ipadで作成したデータ（keynote）の保存についてもGoogleドライブの共有フォルダを活用して、共有を図るようにする。
⑤（通常）・学校全体として、ヒヤリハット事例を情報共有し、再発防止のための対策や改善策に努めているか？	・ ヒヤリハット事例に今後の解決策を具体的に示す。 ・ 主事等会でも話題にし、他学部へ様子を伝えるようにする。 ・ 学期ごとにヒヤリハットやインシデント報告を集約し、GWにて周知する。

⑥（重点）・学校全体として、教室や学習の場、校外の施設などの整備・点検を行い、省エネを意識し、教育環境の改善に努めているか？（重点取組(1)）	・ 事務には引き続き、予算の請求をしてもらう。 ・ 使用していない教室の省エネ（消灯等）を積極的に行ったり、気が付いた職員が消したりする。 ・ データで配付できるものはデータで配付を行い、紙の削減に努める。裏紙や更紙なども利用する。
⑦（重点）・本校の教育課程は、目指す資質・能力を明確に提示してあるか。（重点取組(3)）	・ 教育課程の紙媒体は各学部主事、各学部教育課程・時間割係、管理職、教務が持っているの、紙媒体で必要の場合は確認を行う。 ・ データの保存先は、X フォルダ⇒01 教育課程（令和6年度）ショートカット にあるので、各自で確認を行う。
⑧（重点）・本校の教育課程は、児童生徒個々の役割の実感・実践につながるよう編成されているか？（重点取組(3)）	・ 時間割りや学習内容、行事などの見直し、精選については、教育課程・時間割係で行っている学期反省の中に挙げてもらうよう周知する。
⑨（通常）・学校全体として基本的な感染症対策に努め、様々な人的・物的資源の活用方法を工夫しながら、教育活動に取り入れることができたか。	・ 来年度は、検温（朝、昼食前、下校前）の記入回数を減らす。 ・ 今後も引き続き、基本的な感染症対策を行っていく。 ・ 外部講師の予算等については、事務に相談しながら進めていく。
⑩（重点）・学校全体として、一人一人の教育的ニーズを踏まえ、個別の指導計画を活用した授業づくりを行っているか？（重点取組(2)）	・ 今後も引き続き、指導計画等検討会などで情報共有を行いながら授業作りを行う。 ・ 中間評価を受けて、2学期途中から、個別指導計画内にある一年間の重点目標と自立活動の目標を一覧にして学部で共通理解をするようにした。来年度は、1学期から一覧を作成し、共通理解をする。また、各学部に呼び掛けをしながら、授業づくりに生かしていく。
⑪（重点）・学校全体として、教師間で目標や評価、今後の改善点等を共有しながら、授業実践及び学習評価の充実が図れているか？（重点取組(2)）	・ 引き続き、指導計画等検討会や評価検討会を活用して、目標や評価を共有する。 ・ 反省だけではなく改善点を記入してもらい、それについて話し合ったり、周知したりする。 ・ ⑩の項目で記載してあるが、重点目標、自立活動の目標を一覧し共有することで、共通理解を図るようにする。
⑫（重点）・学校は、進路先の課題に基づく指導内容・指導方法の見直しをしながら、各学部における進路指導に努めているか？（重点取組(5)）	・ 引き続き、進路指導部からの情報を周知していく。（進路指導便りについてはホームページにも掲載されている。） ・ 進路便りに、施設や制度の情報も載せていく。 ・ 児童生徒のキャリアパスポートで、これまでの取組等について確認する。 ・ 教育相談等で進路についての相談等がないか確認する。
⑬（重点）・学校全体として、将来の自立と社会参加に向け、児童生徒が自己選択・自己決定する機会の充実を図っているか？（重点取組(5)）	・ 児童生徒一人一人の実態に応じた自己選択・自己決定できる場面を設定しながら、指導・支援を行う。 ・ 今後も進路指導部を中心に、新しい実習先・進路先を開拓していく。
⑭（重点）・学校全体として、児童生徒の健康の保持・増進（食に関する、歯磨き指導、運動の習慣化等）のための取組を家庭と連携して行っているか？（重点取組(1)）	・ 食育に関する放送を行う。 ・ 養護教諭との連携を図り、治療勧告書などを配付しながら、保護者へ呼び掛けを行う。
⑮（重点）・学校は、センター的機能の充実を図るための取組（巡回相談、学校見学）を企画・運営し、本校の教育活動の理解・啓発や各学校間の学びの連続性の強化に努めているか？（重点取組(6)）	・ 引き続き、巡回相談や就学相談等を実施しながら学校見学につなげていく。 ・ 校内職員向けの支援部業務の紹介、支援部便りの発行等を行う。 ・ 支援部だけではなく、全職員がセンター的機能を発揮できるように努める。
⑯（重点）・学校は、ホームページの定期的な更新を行い本校の教育活動の理解と啓発に努めているか？（重点取組(6)）	・ 更新する際に「公開日」も更新することで、最新の記事だということが一目で分かるようにする。（公開日を更新しないと、内容を変えても、古い記事のように見えるので。） ・ 引き続き、教務より係のチーフへ更新作業のお願いをする。各係でも更新については積極的に行う。 ・ 更新作業については、係内で輪番制にするなど、一人の負担にならないようにする（計画の段階で、HP 担当を決めるなどする）。そのために、4月の職員会議で更新する行事の計画案を示すようにする。

9 保護者・学園職員による評価

- (1) 対 象 : 本校の保護者108人(戸), 学園職員10人, 計118人
 (2) 実施期間 : 令和6年12月9日(月)～令和7年1月9日(木)
 (3) 内 容 : 11の評価項目
 (4) 評価方法 : 4段階評価「4・3・2・1」と「0」

「4: と思う」「3: ややと思う」「2: あまりそう思わない」
 「1: そう思わない」「0: 分からない(見えてこない)」

(5) 集計結果

(ア) 回収率 : 86.4%(102人(戸)) 昨年度73.1%

(イ) 項目ごとの集計結果について

①～⑪(全項目)の平均値→(3.59)

<評価基準> 4: と思う 3: ややと思う 2: あまりそう思わない 1: そう思わない 0: 分からない

	評価項目	評価の視点	平均値	評価(内訳)					計
				4	3	2	1	0	
1	目指す 学校像	学校は, 児童生徒, 職員共に楽しく生き生きと学べる場になっていると思いますか?	3.66	74	24	2	1	1	102
2		学校は, 一人一人の教育的ニーズに応じて, 児童生徒の良さや可能性をのばすための教育が行われていると感じますか?	3.64	76	18	5	3	0	102
3		学校は, 児童生徒一人一人がもてる力を存分に発揮できる場になっていると思いますか?	3.55	68	26	5	2	1	102
4		学校は, 保護者や地域と力を合わせて, 教育活動を行っていると思いますか?	3.51	66	28	4	2	2	102
5		学校は, 将来の進路の選択のために必要な情報を提供していますか?	3.5	71	19	6	3	3	102
6	目指す 児童生徒 像	お子さんは, 以前よりも生活に活用できる力が身に付いてきたと感じますか?(新たにできるようになったこと, 得意なこと, 好きなことの活用等)	3.55	67	28	5	0	2	102
7		お子さんは, 自分らしく学校生活を送っていると感じますか?	3.59	72	21	7	1	1	102
8		お子さんの主体性が, 以前よりも育ってきたと感じますか?(自分から考えて行動する姿や意思表示, 自我の芽生え等)	3.59	70	25	5	1	1	102
9	目指す 教師像	本校の職員は, 児童生徒に寄り添いながら教育活動を行っていますか?	3.69	79	18	2	2	1	102
10		本校の職員は, 児童生徒の発達段階や本人・保護者の願いを踏まえ, 教育活動を行っていますか?	3.62	75	21	2	2	2	102
11		本校の職員は, 児童生徒のことで連絡や相談をしたときに適切な対応を行っていますか?	3.66	78	17	4	2	1	102

(6) 分析及び考察, 来年度の取り組みについて

(ア) 質問項目

全体的に高い評価をいただいた。特に平均値が高かった項目としては,

「① 学校は, 児童生徒, 職員共に楽しく生き生きと学べる場になっていると思いますか?」(3.63)

「② 学校は, 一人一人の教育的ニーズに応じて, 児童生徒の良さや可能性をのばすための教育が行われていると感じますか?」(3.61)

「⑨ 本校の職員は, 児童生徒に寄り添いながら教育活動を行っていますか?」(3.65)

「⑩ 本校の職員は, 児童生徒の発達段階や本人・保護者の願いを踏まえ, 教育活動を行っていますか?」(3.62)

「⑪ 本校の職員は、児童生徒のことで連絡や相談をしたときに適切な対応を行っていますか？」(3.66)
である。職員の支援指導や普段の教育活動を評価していただけたと思われる。

一方で、評価平均値が一番低かった項目として、
「⑤ 学校は、将来の進路の選択のために必要な情報を提供していますか？(3.50)」が挙げられた。

将来の進路に関しては、小学部のうちからは現実的に考えられなかったり、高等部になってから悩み始めたりすることが多く、なかなかイメージしづらいと考えられる。現在の進路に関する取り組みとして、進路便りを発行（年6回程度）（ホームページにも掲載）、保護者向け研修会などの案内、教育相談内での進路相談、卒業生保護者におけるPTA講演会等を行っている。まずは、これらをしっかりと周知していくことが今後の課題と言える。そのため、進路便りや案内等については、文書だけではなく、学校安心安全メールでも送るようにする。また、将来の進路について、イメージしづらい小学部などは、中学・高等部の作業学習等を見学することから呼び掛ける。呼び掛けの手段としては、学部便りや週報等を活用したり、かごしまの教育県民週間（自由参観週間：11/1～7）への参観を促したりする。授業参観のときだけではなく、学校はいつでも自由に参観できることもあわせて周知する。

加えて、教育相談の際に、学校で行っているキャリア教育について伝えるようにする。進級後や進学後、または卒業後に向けての質問などを確認する。

(イ) 自由記述

自由記述欄には、いつも子どもの気持ちに寄り添って関わりくださり、ありがとうございます、いつも感謝しています。またこれからもよろしくお願いします、といううれしいコメントを多くいただいた。

今後の課題や要望などとして、次のような御意見をいただいた。回答をあわせて記載する。

○ 体育祭等の行事の後片付け等も先生方だけではなく、来場した保護者の方々にもお願いをしてもよいと思います。(全員で行った方が30分くらいで終わると思いました)

⇒ 行事後も児童生徒の指導支援や見守り等あるため、すぐに教員が動けず、後片付けは放課後に行っている現状です。また、行事の後片付けについては、学習の一環として、児童生徒が行うこともあります。御協力をいただける部分については、臨機応変に対応して呼び掛けていきたいと思います。

○ 作業学習などの全学年での授業の際、もう少し生徒一人一人に声かけをできれば・・・と思います。

⇒ 一人一人の実態やねらい、目標に応じた言葉掛けを行い、質の高いチームティーチングに努めます。

○ 支援教室が再開校して4年目になります。卒業後は本校の卒業生より厳しい環境（条件）の中での就職を迫られます。学校側はもっと動いて、子供たちに卒業後の幅広い選択肢をもたせるよう、努力して動くべきだと思います。支援教室保護者同士の交流が全くないのも残念です。授業参観も無いのも残念です。

⇒ 来年度、授業参観やPTAなど実施する方向で検討したいと思います。

○ 行事（修学旅行、実習、大会等）本人と別で、学園用で行程や準備物、移動手段、実習先一覧、費用等が分かる資料を準備していただけると助かります。直前の準備が多く、準備することが難しいことがあったので、前もって情報を知れるとありがたいです。

⇒ 希望の星学園の職員の皆様、いつも御協力ありがとうございます。本人とは別に、職員用のプリントも配付します。

○ クラスの2名の担任の先生方の方針が違うことがあり、足並みをそろえていただけたら子どもたちも安心できます。

⇒ 担任間で緊密に情報共有を行い、目標やねらいを共通理解します。指導の形態として、あえて役割を変えていることもある場合もあります。

10 学校関係者評価委員による評価

- (1) 対 象 : 本校の学校関係者評価委員 5 人
(2) 実施期間 : 令和 7 年 2 月 2 7 日～ 3 月 7 日
(3) 内 容 : 7 の評価項目
(4) 評価方法 : 4 段階評価「 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 」
(5) 集計結果 (最終評価) 5 人回答／ 5 人中

4 : そう思う 3 : やや思う 2 : あまり思わない 1 : 思わない

評価項目	観 点	評 定 (平均値)	評価点の内訳 (5 人) 意 見 等
自己評価の実施に関する評価	自己評価のアンケートは重点目標など具体的な目標や計画を評価する内容になっていたか。	4 . 0	【 4 . 4 . 4 . 4 . 4 】
	自己評価のアンケートの内容は学校の取組を客観的に評価できるものになっていたか。	4 . 0	【 4 . 4 . 4 . 4 . 4 】
自己評価結果を踏まえた改善策に関する評価	自己評価の結果の分析と考察は適切になされていたか。	4 . 0	【 4 . 4 . 4 . 4 . 4 】
	自己評価の結果は、学校経営の改善に役立つものになっていたか。	4 . 0	【 4 . 4 . 4 . 4 . 4 】
	自己評価結果を踏まえた今後の改善策は明確に示されていたか。	4 . 0	【 4 . 4 . 4 . 4 . 4 】
学校関係者評価委員会に関する評価	学校関係者評価委員会の資料は、わかりやすくまとめてあり不備はなかったか。	4 . 0	【 4 . 4 . 4 . 4 . 4 】
	学校関係者評価委員会は活発な意見交換を行う環境（雰囲気）であったか。	4 . 0	【 4 . 4 . 4 . 4 . 4 】
その他 (自由記述) 評価委員会で 知りたいこと などについて も御意見をく ださい。	- 全ての項目について細やかな分析がなされていた。また、改善につなげていくための対策も考えておられ、参考となった。保護者アンケートに対しても誠意のある回答がなされ大変よかった。 - デジタル教育と活用を評価に入れてはどうでしょうか。 - 性に関する教育。 - 学習発表会がデジタルに頼っているような気がします。以前に比べ、子どもたちの活躍の姿が見えないような気がします。 - 年間行事や授業参観を通して、児童生徒の明るく楽しそうな表情から日頃の学校環境や先生方の指導の賜物と感じました。 - 地域行事との関わりや情報の共有等には地域学校との連携のよい方法がないか考えてみたいと思います。 - 今年度、最後の委員会、授業参観に参加ができなくてとても残念でした。今年度も先生方、お疲れ様でした。 - いつも学校の対応には感謝しています。スクールバスのバス停までの道、もしくは直接学校へ行くとき、だらだらして学校に行きますが、家から歩くことはだるいと思っても、学校へ行くこと自体は拒否しないので、学校と先生のことが大好きなんだと思います。		